



山の手通信

No. 1

2011年6月1日

●自主防災について

首記の件、先日の臨時総会に於いてお話ししました通り、和木町から各自治会に「自主防災」の呼びかけがありました。

和木町自治会連合会は、「本年度内を目標に町内の全 23 自治会で自主防災組織を結成する。」と発表。「自主防災組織の設立は、情報収集班や救護班など個人の役割を決め、避難訓練など事前の備えで災害時の被害を最小限に食い止めるのが狙い。組織で行動することで防災意識を向上させる目的もある。自治会連合会の大友会長は『東日本大震災も組織作りの一つの契機になった。土地柄を考慮しながら形骸化しない組織をつくりたい』と話している。」（5月21日中国新聞より一部抜粋）



それに先立ち、和木町は各避難所に毛布を配給することを検討中とのこと。

ご存じの通り 2丁目第3集会所（山の手）は「二次避難所(※)」として設定されております。

毛布やその他の避難用具を常備するにあたり 集会所内に物を置いている各同好会様や諸団体様におかれましては、収納場所や収納スペースの見直しについてご理解とご協力をお願い申し上げます。

※《一次避難所》災害発生時に、一時的に集合して様子を見たり、互いの安否確認をしたりする際に使用できる場所。

《二次避難所》災害により自宅での生活が困難になった方の避難生活の場となる施設。